

■西脇順三郎 詩人, 英文学者。洗練された近代感覚で注目を集め、<敗戦>後も、新詩運動の支柱となった。
にしわきじゅんざぶろう
日清戦争始・1894＝ 新潟県小千谷町の生れ。父は小千谷銀行の当主。

ピョートル国産化・1900＝ 6歳：小千谷尋常高等小学校に入学。

日比谷公園・1903＝ 9歳： 絵の才能は抜群であったが、算術は振るわなかった。

日露戦争終・1905＝11歳：
満鉄発足・・1906＝12歳：小学校を卒業し、県立小千谷中学校に入学。

絵の他に英語に強い興味を持ったが、日本文学への興味は殆ど無かった。

大逆事件判決1911＝17歳： 中学を卒業後、画家を志して上京、藤島武二の門に入るが、当時の画学生の気風になじめず、父が死去したこともあって、画家を断念する。
明治天皇没・1912＝18歳： 慶応義塾大学理財科予科に入学。詩に興味を持つようになる。
第一次大戦始1914＝20歳： 理財科に進み、高橋誠一郎・小泉信三両教授の指導を受ける。同級に野坂参三がいた。
経済学への関心は低く、専らヨーロッパの文学や評論を読む。

ロシア革命・1917＝23歳： 慶応義塾大学を卒業。卒業論文は全文ラテン語で書いた。ジャパン・タイムズ社に入社するが、病気のため退社し、帰郷して療養。
ベルリン条約・1919＝25歳： 全快して再び上京。外務省囑託となり、条約局に勤務。
大暴落・・・1920＝26歳： 推薦されて慶応義塾大学予科教員となる。_{英語文学}に英文の評論を発表、執筆活動が始まる。この年出版された萩原朔太郎の「月に吠える」を読み、魅せられて日本語による詩作の衝動を覚える。

原敬首相暗殺1921＝27歳： 残存する最初の詩で作品、英詩「ざくろ」を発表。
水平社結成・1922＝28歳： イギリスに留学し、
オックスフォード大学で古代中世英語英文学を学ぶかたわら、当地の若い詩人らと交遊、モダニズム文芸の洗礼を受ける。
護憲三派圧勝1924＝30歳： イギリス人の画家マジョリ・ピットルと結婚。_イギリスの詩の季刊誌に作品が掲載される。
治安維持法・1925＝31歳： *ロンドンで英語の詩集「Spectrum」を刊行し、有力紙で好評、オックスフォード大学を中退して、帰国。
円本時代始・1926＝32歳： 慶応義塾大学文学部教授に就くと同時に、活発な文学活動を始め、
金融恐慌・・1927＝33歳： 自分のもとに集まった滝口修造ら学生たちと日本最初のシュールレアリスムの詩誌を出す。
共産党事件・1928＝34歳： 春山行夫編集の{詩と詩論}が創刊されるや、同誌に詩論、エッセー、作品を精力的に執筆し、当時の新詩運動の中心的な一人となった。{衣裳の太陽}には外国人名のペンネームで作品を発表。

世界恐慌・・1929＝35歳： 「超現実主義詩論」、
海軍軍縮条約1930＝36歳： 英文詩集「Poem Barbaros」を私家版で出す。
満州事変・・1931＝37歳：
五一五事件・1932＝38歳： マジョリと離婚し、桑山冴子と再婚。
国際連盟脱退1933＝39歳： *詩集「Ambarvalia」を出版、その知的に洗練された近代感覚で注目を集め、詩壇の地位を確立する。
帝人疑獄事件1934＝40歳： {詩法}が創刊され、毎号詩論を発表。詩作は太平洋戦争を間にはさんで、以後約10年間中断、
日中戦争始・1937＝43歳：
第二次大戦始1939＝45歳： この間、_学生の井筒俊彦によって、国文科教授の折口信夫との「知」の親交が始まり、
日米開戦・・1941＝47歳： _その影響で、「古代文学序説」を執筆し始めて、「幻影の人」が導きになって行き、

年金+総武装 1944＝50歳： 妻子の疎開していた小千谷に赴き、日本・東洋の古典や水墨画に親しむ。「旅人かへらず」の構想を抱く。
敗戦・・・1945＝51歳： 敗戦後、単身上京して、再び、教壇に立つ。
新憲法公布・1946＝52歳： _詩作を再開。
新憲法施行・1947＝53歳： *新たな詩境も開いて、戦後を代表する詩集「旅人かへらず」を「あむばるわりあ」と同時出版。
極東裁判判決・1948＝54歳： 妻子も上京して同居。「近世英文学史」3巻、「古代文学序説」、
三大事件・・1949＝55歳： 「カンタベリ物語」を翻訳出版。「古代文学序説」により文学博士。

独立回復・・1951＝57歳： 慶応義塾大学文学部長となる。_同志と詩誌{GALA}を創刊し、毎号詩を発表。

TV放送始・・1953＝59歳： _詩集「近代の寓話」。前年刊行のエリオットの訳詩集「荒地」で慶応義塾賞。

55年体制始・1955＝61歳： _詩集「あんどろめだ」、
国連加盟・・1956＝62歳： _詩集「第三の神話」で、東洋と西洋の詩情の融和に達して新たな詩趣を示し、読売文学賞。
なべ底不況・1957＝63歳：

安保闘争・・1960＝66歳： 長編詩「失われた時」、

全国総合計画1962＝68歳： 日本芸術院会員となる。慶大教授を辞任し、明治学院大学教授となる。日本現代詩人会会長となる。詩集「えてるにたす」、_「豊饒の女神」では、円熟自在の詩境に遊ぶ。
TV宇宙中継始1963＝69歳： 「西脇順三郎全詩集」が刊行される。現代詩人会会長を辞す。

大学紛争始・1965＝71歳： 明治学院大学教授を辞し、日本女子大学図書館長となる。
いざなぎ景気1966＝72歳： 日本女子大学教授となる。
美濃部都知事1967＝73歳： 「礼記」、

大阪万博・・1970＝76歳： 「鹿門」、
ドルショック・・1971＝77歳： _文化功労者、

石油ショック1973＝79歳：

クランポール事件1975＝81歳：
革新大敗北・1979＝85歳： 「人類」など、_詩集を出し続けて、
中曽根内閣・1982＝88歳： _没した。

新潮社「日本詩人全集23」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典。安藤礼二「井筒俊彦 起源の哲学」で追補、